

相生学院高等学校

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法	
				回	時期	内容	時間		
前期 (後期)	4月 (10月)	3編遺伝情報の発現と発生 2章発生と遺伝子発現	原核生物・真核生物の遺伝子発現の調節について理解する。 動物の発生について具体的な場面も含めて理解する。 胚の細胞の発生運命と遺伝子発現・発現の調節について具体的な場面も含めて理解する。 動物の形と調節遺伝子の発現について理解し、活用することができる。	第1回	5月 (11月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
	5月 (11月)	3章遺伝子を扱う技術	遺伝子を増幅・塩基配列を解読技術について具体的な場面も含めて理解する。 遺伝子組換え技術の利用・技術課題について具体的な場面も含めて理解する。	第2回					
	5月 (11月)	4編生物の環境応答 1章動物の刺激の受容と反応 2章動物の行動	刺激の受容から反応への流れ・ニューロンの興奮について理解する。 刺激の受容と感覚について具体的な場面も含めて理解する。 中枢神経系での情報処理について具体的な場面も含めて理解する。 効果器について具体的な場面も含めて理解する。 動物の行動について理解し、活用することができる。	第3回					
	6月 (11月)	3章植物の環境応答	植物ホルモンと光受容体・環境要因による発芽の調節について具体的な場面も含めて理解する。 茎や根の成長と環境要因の影響について具体的な場面も含めて理解する。 花芽形成と環境要因の影響・果実の形成と成熟のしくみについて理解する。 器官の老化と脱落のしくみについて理解し、活用することができる。	第4回	スクーリング 6月～7月 (10月～12月)	メディア学習により免除	4	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
	6月 (12月)	5編生態と環境 1章個体群と生物群集	個体群と環境・構造と成長について具体的な場面も含めて理解する。 個体間・種間の相互作用について具体的な場面も含めて理解する。 生態系から見た生物について理解し、活用することができる。 生物群集の成り立ちと多種の共存について理解し、活用することができる。	第5回					
	7月 (12月)	2章生態系の物質生産と物質循環 3章生態系と人間生活	て生態系の物質収支と生態ピラミッドについて具体的な場面も含めて理解する。 生物多様性・人間社会の変化と生態系について具体的な場面も含めて理解する。 生態系の復元について理解し、活用することができる。	第6回					
	9月 (1月)	単位認定試験						4	考査
						面接指導(単位時間) 合計			4